

海外で加工される海外ウランの溶接作業に係る確認事項について

海外で加工される海外ウラン燃料についての溶接作業に係る確認事項は、従来から国内および海外で加工しているウラン燃料の調達における活動に違いはなく、これまでと同様に以下の点を実施する。

- ・調達文書で要求する承認申請図書により、燃料棒の端栓溶接作業に係る管理方法等の記載を要求し、確認する。
 - 設計及び工事に係る品質マネジメントシステムに関する説明書（以下「品管説明書」という。）**3.6.3 (1)**項に基づき、調達に係る要求事項を記載した仕様書において、燃料棒の端栓溶接のような燃料の品質に影響がある工程の適格性確認に係る図書や、実際の溶接作業における工程管理及び品質評価項目を記載した図書を承認対象として要求している。

- ・具体的には、溶接プロセスの適切性を確保する観点から、供給者が実施する溶接パラメータの管理や破壊試験などの方法について確認する。
 - 調達先が実際に溶接サンプルを使って健全性確認（例：外観、、金相など）を行った結果をとりまとめた図書により端栓溶接プロセスが妥当であることを当社が審査する。
また、その確認結果を踏まえ、端栓溶接の健全性担保の観点から、当該プロセスにおいて実機製造で調達先が管理する溶接条件（例：、など）や検査で確認する項目について記載された図書を当社が審査する。
なお、これらの図書は、品管説明書 **3.6.3(2)**項のとおり、上述の仕様書における要求事項に基づき提出されることとなる。

- ・また、供給者の実施する検査要領も承認申請図書として確認しており、その中の記載で燃料棒の端栓溶接における具体的な検査内容について、適切な品質が確保できることを確認する。
 - 品管説明書 **3.6.3 (2)**項のとおり、仕様書における要求事項に基づき調達先から提出される試験検査要領書に記載された検査方法や検査頻度等について審査する。
なお、検査方法・検査頻度等は、上述の実機製造で調達先が管理する溶接条件及び検査で確認する項目を記載した図書を踏まえて決定されることとなる。

- ・調達先に対しては品質監査を実施し、品質保証活動等が適切かつ確実に行われていることを確認する。
 - 品管説明書 **3.6.3 f** 項のとおり、調達先に対する監査を実施し、関連手順書の整備状況の確認・力量管理についても確認する。

今後も、設計及び工事の計画認可申請書の「IV. 設計及び工事に係る品質マネジメントシステム **3.6.3** 調達製品の調達管理」に基づき、国内海外ともに上記のとおり実施する。

以上

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。